

新旧代表理事へ挨拶

バトンタッチ

代表幹事 柴田素伸



ちようど四年前、中部支部の役員
の任期が終了する時、愛知県技術士
会の代表幹事を引き受けて欲しいと
当時の代表幹事である内田様から強
く要望された。

私は一休みができると思っていた
が、副代表幹事となって全面的に協
力するからと強力に勧誘され、その
熱意にほだされてお引き受けした。
最初は愛知県技術士会の幹事会に
は出たことも無く、全く様子が分か
らなかった。がとにかく、よき伝統
を守り、会員の皆様の利益になるこ
とを優先し、そして会員が増加する
ようにと願ってがんばってきた積り
である。

そして二期四年が経過した。
四年は長いと思ったが今ではあっ
という間の時間であった。
この四年間何をしてきたか、まず
思い当たるのが、ホームページを定
着させること。

幸い支部の協力が得られて、UR
Lも取れた。HPを維持してくださ

る役員の方も決まった。まだ利用率
は低いと思われるが、ネット時代に
入りこれからもっと利用価値は高ま
るのであると期待している。
次が、住所録の整備かな。個人情
報保護条例の施行で実現までに二年
近くかかったが、昨年やっと完成し
た。

これにも役員の方々の大いなるご
援助があつて実現した。ワーキング
グループの運営を県組織に組み込み
運営の方向付けを行い、会場費など
の運営費の一部援助も可能になった。
新会員の勧誘に関しては機会ある
ごとに全員で努力していただき、少
しずつ増加してきた。

例会の運営や事務局作業も皆さん
で協力していただき、工夫とアイデ
ィアで内容に対する満足度も高くな
りつつあると思っている。
四年間を通じて、役員の皆様には
本当にお世話になった。心から感謝
させていたいただきたい。

いま挙げたことも私は提案するだ
けで、役員の皆様の援助が無ければ
何も進まなかったに違いない。すば
らしい方々と一緒に愛知県技術士会
の運営ができたことを誇りに思っ
ている。

二期四年の任期を終え、中川様に
バトンタッチをすることにした。会
社にいる時、ある役員の方々にこん
なことを言われた。
「仕事は全部自分がするのではなく、
後輩への分を残すことも大切な仕事
だよ。」

引き際にはいつもこの言葉が思い
出される。
四年間、皆様とご一緒に愛知県技
術士会の運営に携わってきたことに

今一度心から感謝したい。
今後は、顧問として側面から協力
していくことになったが、中川様を
中心に会が新たな発展を遂げること
を心から願うものである。

会員の皆様、本当にありがとうございました。

完

Re:バトンタッチ

次期代表幹事候補 中川 宗彦



何の因果か、紙ベースの会報最終
号発行とタイミングを合わせるよう
に、代表幹事と言う大役を引き受け
る事になってしまった。

コンピュータと言えば、「IBM SYS
TEM/370 MODEL/135」などといった時
代、大学の計算機実習ではパンチカ
ードにFORTRANのプログラムを打ち
込み、計算センターに持ち込むと、
出力は半日後に紙に印字されて出て
くる、と言うのが私のコンピュータ
原体験。

その後、CPUにZ80を搭載した。パ
ソコンの走りを購入すると、コンピ
ュータに直接プログラムを打ち込み
結果は即座にテレビ(CRT)ディスプ
レイではないの画面に表示されて、

その便利さに驚愕。ただ、プログラ
ムはカセットテープに保存、という
何ともヒマの掛かるシロモノ。
さらに時代は進んで、800パソコン
では速さと大容量にたまげたフロ
ッピーディスクも、いつのまにか遅
さと容量不足で使い物にならないほ
ど進歩してしまった、パソコンを始
めとするデジタル機器。デジタル機
器を使い慣れていくとはいえ、やっ
ぱり、紙の方が良いと思ってしまう
のは、コンピュータ原体験が紙出力
だったせいだろうか。

しかし、いくら「紙が良い」と言い
張ったところで、時代の流れはペー
パーレス。データ保存における信頼
性の低さ等の問題も多いが、確かに
デジタル化されたデータは便利な事
も多い。時代の流れに乗ってか、愛
知県技術士会の会報も全面的にウェ
ブに移行する事になって、ついでに
代表幹事も交代する事になった、と
いう事実は、偶然の一致である。

さて、代表幹事という大役を引き
受けるにあたって、基本的には従来
の路線を継承するつもりでいる。
最近、「不易流行」という言葉をよ
く見かける。変わってはいけないも
のは守り、変えるべきは変えていく
という意味に捉えている。「流行」の
最たるものの一つが会報のウェブ化
であろう。しかし、「不易」を見誤っ
てはいけない。皆さんのご意見をう
かがいながら、不易と流行を見誤ら
ないよう、愛知県技術士会の魅力の
増大と会員の増加につなげてけれ
ら、と考えています。

そのためにも、皆さんの協力が不
可欠です。ご意見とご協力を、よろ
しく願います。

完